

大学院教育支援機構（DoGS）海外渡航助成金 報告書

Outcome report

計画名 Plan	スウェーデンにおける反移民言説とマスメディア—国際学会での研究発表
氏名 Name	深田 明
研究科・専攻・学年 Graduate school/Division/Year level	人間・環境学研究科博士課程 3年
渡航国 Country	大韓民国
渡航日程 Travel schedule	2025年 7月 12日 ~ 2025年 7月 16日

- ページ数に制限はありません。No limits on the number of pages
- 写真や図なども組み込んでいただいて結構です。You can include pictures or illustrations.
- 各項目について具体的に記述してください。Please fill in each item specifically.
- 日本語または英語で記載ください。Please use Japanese or English.

渡航計画の概要 Outline of the travel plan

本計画は、大韓民国・江南にて国際学会、International Political Science Association での研究発表を行うことを主旨としたものである。

申請者は、スウェーデンにおける人の移動がもたらす福祉国家のあり方について研究しており、去年度の冬にその研究成果の一部を、上記学会で報告することを希望、その後採択された。よって、学会参加に伴う渡航費、滞在費を本助成金に申請した。学会期日は渡航日程と同じく 2025年 7月 12日～16日 で、研究発表は、“Which Idea is Swedish? : The Case Study of the News Editorials on Immigration discourses in Sweden”という題にて 7月 16日の朝 9時より Co-ex と呼ばれる会場で行われた。発表された研究内容の要約は以下の通りである：

本稿は、2022年総選挙後のスウェーデン民主党（SD）の政治的台頭を受けて、スウェーデンの主要日刊紙であるダーゲンス・ニューヘテル（Dagens Nyheter）とスヴェンスカ・ダグブラデット（Svenska Dagbladet）が、社説論説において移民問題をどのように枠組み化してきたかを考察する。批判的言説分析（CDA）に基づき、2022年から 2024年までに発表された社説を分析し、主流メディアが変化する政治状況の中で移民の意味をいかに構築し、交渉しているかを明らかにする。分析から以下の 3つの主要テーマが浮かび上がる：(1) 移民を福祉国家における経済的貢献者として位置づける視点、(2) 文化的な隔たりと統合の課題への懸念、(3) 「スウェーデンらしさ」としての道徳的自覚、(4) 移民問題に関する極右言説への反対／共鳴を示す編集方針。調査結果によれば、社説はリベラル民主主義的価値観を再確認する一方で、経済的現実主義と文化的境界の間の緊張関係を再生産し、時に極右レトリックの微妙な正常化や距離化に関与していることが明らかになった。本研究は、スウェーデンにおけるポピュリズム台頭の時代において、メディア言説が政治的境界を反映すると同時に再形成する過程を理解する上で貢献するものである。

成果 Outcome

本計画は、博士論文を執筆するために重要な研究の軌跡であった。よって、無事に発表論文を書き終え初めての国際学会に参加できたことは何よりも充実した成果であった。また、学会先では日本の大学に務めている先生方とのお挨拶のみならず、海外の学者との交流も多くあり、特に発表の際同じパネルとなったチェアの方からは、研究に対する真摯なフィードバックとこの研究内容を論文として研究雑誌に発表することを後押ししてくださった。このようなアカデミア内部でのネットワークがうまれたことは、国際学会に直

接向かい参加しなければ成し得なかったことと思われる。

今後の展望 Prospects for the future

申請者は、上記にも述べた通り、博士論文においてスウェーデンを対象とした福祉国家と移民・難民を含む人の移動に関する研究を行っている。特に、申請者の研究は、移民・難民政策（以下、移民政策）を福祉国家の一部として位置付け、福祉国家再編期といわれる1990年代以降の現代スウェーデン政治において、特に2015年に起こった難民危機以後の政治コミュニケーションに着目し、移民政策の変遷のみならず、それと共に構築されてきた規範や思想を明らかにすることを目的としている。この博士論文の概要のうち、一章分が本研究に当てはまる予定である。今後、博士論文の更なる発展と共に研究に励む。